



国際ソロプチミスト近江八幡は滋賀県7つのクラブ中、3番目のクラブとして23年前に誕生し、現在会員数は42名です。



SOLT委員会メンバーです。

私は入会して5年、私以外は全員会長経験者ですから、私の委員長職はメンバーに全面的に支えられています。



私は入会以来ずっと広報を担当し、20年の歩みのDVD化、ホームページの開設と更新を担当して来ました。一方で、他の委員会を知らなかったことで、昨年8月のSOLT委員長の突然の指名には目の前が真っ暗でした。それを救ってくれたのは次の二つの事でした。



一つは、前年度委員長がまとめて下さった3冊のファイルです。

もう一つは、新しいSOLTBOOKです。

「SOLTBOOKを開きましょう」

この、なんとも優しい響きのテーマが、私のような新米委員長の肩の荷を降ろしてくれました。

SOLT研修会
「新SOLTブックを開きましょうー
新入会員とともに」
2011年11月8日(火) 10:00から

「5年未満会員に向けてー通常例会議事日程の読み解き方」
「SOLTブックの新旧比較 どう変わったの?」
「知ってますか? SI定款からクラブPDまで」
「皆でトークーSI近江八幡の“今まで”と“これから”」

そこで早速、「SOLTBOOKを開く」研修会をこのような4つのテーマで開催することにしました。開催日は11月8日、新入会員研修を含め、例会時には時間不足で出来ない「本音?トーク」も入れて、てんこ盛りの内容です。

そうしましたら、この度、リジョンSOLT委員会様から「興味をそそるテーマ」と言われ、ここに立つことになりました。

SOLT研修会風景



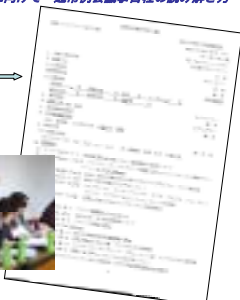
講師役や司会は委員会メンバーが分担し、規約決議委員会の協力の下、72%の会員の出席を得ました。皆で学びあうという雰囲気をつくるため口の字に机を並べ、SOLT委員はあえてバラバラに席をとりました。

それでは、各テーマにそって研修内容を簡単に述べます。

テーマ1

テーマ1 5年未満会員に向けてー通常例会議事日程の読み解き方

通常例会議事日程(案)



5年未満会員の研修として、通常例会議事日程を順を追って解説しました。そういえば私も 入会して暫くの間はどこを見てよいのか？言葉の意味も分からず困ったものです。

テーマ2:

テーマ2 SOLTブックの新旧比較 どう変わったの??



事前に、今までのSOLTBOKの各ページや項目、フレーズが新BOOKのどこに該当するのか？新しく加わったのはどこなのか？を調べました。あまり自信はありませんでしたが、結果を次のように説明しました。

・新BOOKと旧BOOKのページ差は28ページ、このうちあらたに追加されたクラブガイドからの抜粋分12ページ、プロトコルが11ページですから実質的な増加分は5ページです。

・この追加部分に注目しながら1ページから順に見ていきましょう。

・気づくことは、各項目の配置が変更になっていることです。入れ替えの思想はおそらく「クラブ運営」を中心に集めたと思われます。

・削除された部分は少なく、終了したプログラム等です。

・そしてチョット一息が挿入されました。

その後、地区大会で丁寧な説明をお聞きし、納得いたしました。

テーマ3

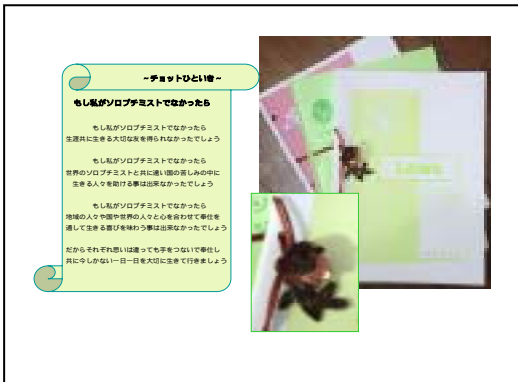
講師はチャーターメンバーの一人です。

ソロプチミスト世界地図と機構別関連事項一覧表を参照しながら「一人では出来ない奉仕を皆で力を合わせて行うソロプチミストは世界的な団体である。団体を維持するためにそれぞれの規約があり、それは知恵の結集である」と学びました。



そして、「チョットひといきーもし私がソロプチミストでなかったら」を朗読しました。

また、「この3冊を紐で結わえていつも携帯する。そのために穴が空けられている」とのお話には私は家に帰り、さっそく紐で結わえました。この度、写真をとるために立派な紐に変えております。

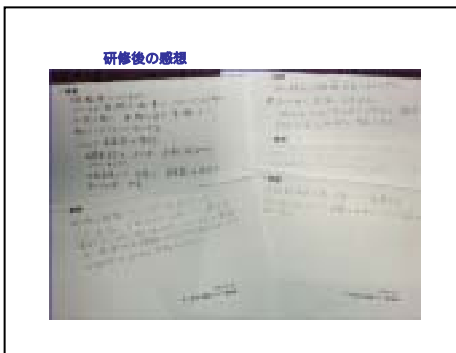


テーマ4

どんなトピックスが飛び出すのか楽しみだった「皆でトーク」は「開設した事務所」の使い方について盛り上がりました。それまで拠点の無かった当クラブは、数年間、拠点形成の議論を重ねてきましたが、この研修会の一週間まえにJR近江八幡駅近くに事務所を開設するに至りました。

そして、トークの中で、会員宅に分散・保存してあった資料をSOLTBOOKのアーカイブスにそって整理することを確認しました。奉仕活動とクラブ運営は車の両輪ですからS I近江八幡の“これから”に向けた貴重なトークになったと思います





手前味噌ではございますが、研修後の感想をいくつかご紹介いたします。

入会后、様々な資料をいただいておりますが、夫々の資料の重要性、関連性が分かりました。

4つのテーマの話はわかり易く、改めて勉強になりました。

「チョットひといき」の言葉を大切にしていきたいと思います。

研修会を通して私が得たもの

新人が委員長をやり、研修を企画して、講師までやらせていただく・・・それを可能にする背景は？

1、クラブにチャレンジ精神がある
2、ベテランメンバーが新人の自主性を重んじながら見守る

*挑戦することが何物にもまさるLeadership Trainingとなる

C hance (好機)
C hallenge (挑戦)
C ontinuity (継続)
+ C omfort (心地良さ)

さて、最後に私自身がこの研修から学んだことを述べて終わりにいたします。

新人が委員長をやり、研修を企画して、講師までやらせていただく・・・それを可能にする背景は何だろうと考えますと・・・

- 1、クラブにチャレンジ精神がある事
- 2、ベテランメンバーが新人の自主性を重んじながら見守っている事 だと思います。

そして、挑戦することが何物にもまさる

Leadership Training となる という事です。

ご清聴ありがとうございました。